

— ウェルビーイングで組織の未来を切り開く —

戦略マップで実現する健康経営



清水 啓之 CWO

取締役副社長執行役員/エネルギープロジェクト事業本部長

2024 年 10 月 CWO（Chief Wellness Officer）就任、健康経営推進会議議長

当社は健康経営の実践を通じて、役職員の”こころ”と”からだ”の健康の保持・増進を以て会社の生産性・収益性を向上させ、更なる企業価値の向上を目指しています。

私は CWO として、特に昨今の重要課題である「メンタルウェルビーイング」に注力していきます。これは、ウェルビーイングの中でも特に心理的・精神的な健康に焦点を当てた概念であります。これに注力する背景にあるのは、従業員のメンタル不調を引き起こす様々な阻害要因が個人の幸福感、更には生産性を低下させており、これを出来るだけ払しょくすることが必要であると考えているからです。心の健康はウェルビーイングの他の側面にも大きな影響を及ぼしており、これに正面から取り組むことが肝要であります。

我々のような建設会社は、工事の安全第一が最重要であることは言を俟ちません。これまで傷害を伴う事故を撲滅すべくフィジカル的な安全を追及してきました。そこから、更なる工事安全の高みを目指すには「メンタルウェルビーイング」に取り組むこともより重要になってきていると認識しています。

経営の視点で、当社の財産である役職員の健康を最大限サポートし、戦略マップに基づくウェルビーイングを実現していきます。